

別紙1 事業計画書 ※欄が不足する場合は別紙を添付ください

【1. 企業概要】

企業名・屋号名	業種	従業員数	人(社員 人、パート・アルバイト 人) (参考:役員 人)
---------	----	------	-------------------------------

【2. 現状分析】

①現在の事業内容(取扱商品・サービス)												
②特徴・セールスポイント												
③販売ターゲット・戦略												
④SWOT分析												
<table border="1"> <tr> <td></td> <td>強み</td> <td>弱み</td> </tr> <tr> <td>内部環境</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>機会</td> <td>脅威</td> </tr> <tr> <td>外部環境</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		強み	弱み	内部環境				機会	脅威	外部環境		
	強み	弱み										
内部環境												
	機会	脅威										
外部環境												

【3. 新たな取り組み】

テーマ
実施時期 令和 年 月 実施場所 皆野町大字
①取組理由
②新規性・事業実施の効果
③販売ターゲット・戦略

【4. 事業費内訳】 単位:円

経費	補助対象経費(a)	申請額 (a) × 1/2
機器・車両購入・リース費		
外注費		
免許等の取得・登録費		
備品(簡易的な事務用品は除く)		
合計		

【5. 売上・利益計画】 (単位:千円)

	直近決算	1年後	2年後	3年後	売上高算出根拠
売上高①					
売上原価② (仕入高)					売上原価算出根拠
経費					
人件費					
地代家賃					
水道光熱費					
広告宣伝費					
リース料					
外注費					経費算出根拠
消耗品費					
その他					
経費合計③					
利益 ① - ② - ③					

【6. 必要な資金・調達方法】 (単位:千円)

必要な資金	金額	資金調達方法	金額
内訳 例) 店舗・機器・車両・備品など		自己資金	
		親族・知人等からの借入	
		返済年数: 年	
		月返済額(元金): 千円	
設備資金小計			
内訳 例) 商品仕入れ、外注費、消耗品支払いなど		金融機関からの借入(予定も含む)	
		返済年数: 年	
		月返済額(元金): 千円	
運転資金小計			
① 合計		② 合計	

※合計①と②の金額は一致します

【7. 自由記述欄】 ※その他アピールポイント、新規事業への熱意等